

第96期

中間株主通信

株主のみなさまへ | 2023年4月1日～2023年9月30日

株式会社 PALTAC

市場の変化を的確に捉え、
持続的成長に向けた取り組みを進めてまいります

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

上期は、依然として原材料・エネルギー価格上昇の影響を受けたものの、新型コロナの5類感染症移行に伴い、脱コロナの動きが本格化し、経済の正常化が進みました。マスクや消毒液などの衛生関連品の需要が減少する一方で、レジャーなど外出機会の増加により、化粧品や医薬品の需要が増加するとともに、回復の兆しを見せるインバウンド需要など、市場の変化を的確に捉えた取り組みにより増収となりました。利益面につきましては、物価高騰を背景に利益確保が難しい環境が継続するなか、配送効率化などの改善取り組みを進めたことに加え、前期において計上していた物流受託事業拡大を目的とした栃木物流センター新設に伴う一過性費用が、今期はなくなったことなどにより増益となりました。

今後におきましても、市場の変化に対応するとともに、破壊と創造をいとわない変革を進め、持続的成長に向け取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

吉田 拓也

2024年3月期 第2四半期の実績

売上高

5,834億円

前年同期比：+5.1%

営業利益

137億円

前年同期比：+15.1%

経常利益

156億円

前年同期比：+15.9%

四半期純利益

108億円

前年同期比：+17.2%

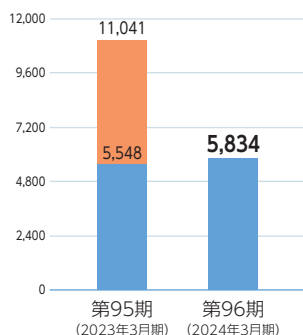
■ 売上高は、市場の変化を的確に捉えた取り組みを進めたことにより増収となりました。

■ 利益面は、継続した改善取り組みや前期の栃木物流センター新設に伴う一過性費用がなくなったことなどにより増益となりました。

実績の推移

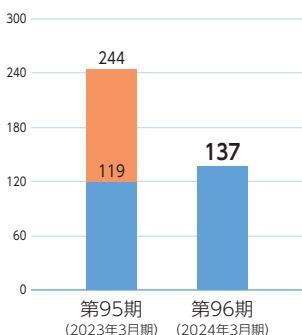
売上高

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



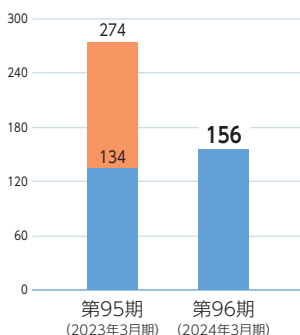
営業利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



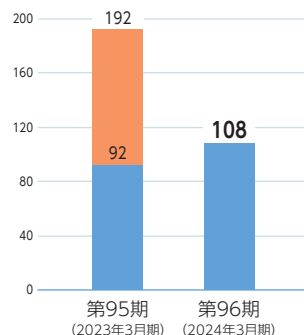
経常利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



四半期(当期)純利益

(単位：億円) ■ 第2四半期 ■ 通期



2024年3月期 通期計画

売上高

1兆1,420億円

進捗率：51.1%

営業利益

265億円

進捗率：52.0%

経常利益

295億円

進捗率：52.9%

当期純利益

203億円

進捗率：53.7%

■ 通期計画につきましては、2023年5月11日に公表した業績予想から変更はありません。引き続き市場の変化を捉え、計画達成に向け取り組みを進めてまいります。

持続可能な社会の実現に向け、
社会・環境価値向上に向けた
取り組みを進めております

当社の取り組みに関連する主な目標



CO₂削減に向けた当社の取り組み

当社CO₂排出量の削減効果が大きいのはセンターの電力使用量を減らすことですが、当事業の根幹をなすセンターの電力使用量減少(=物流の停止)には限界があります。そこで、電力を作り出す際に排出されるCO₂量を指し示す「排出係数」を下げる取り組みを推進しております。

Check! CO₂ 排出量って どうやって測っているの?

ガソリンや電気などの「使用量」に
「排出係数」をかけて求めます

ガソリン/
電気/ガス etc

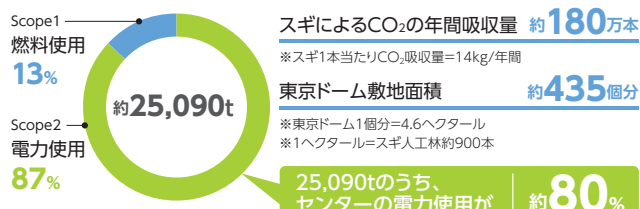
使用量



排出
係数

当社の年間CO₂排出量

※目標基準年:2021年3月期



排出係数を下げる方法

発電するときにCO₂を排出しない(=排出係数ゼロ)
再生可能エネルギー(再エネ)を

創る 太陽光/風力/地熱/水力/バイオマス

買う 環境証書*/電力会社からの調達
※CO₂を排出しないという「環境価値」を証書化したもの

当社は、再エネを「創る」「買う」の取り組みを推進

現在、太陽光発電設備の設置に着手するとともに、環境証書購入の検討を進めております。
今後も、調査・検討を進め、状況に応じた最適な手段でCO₂排出量の削減を進めてまいります。

既存の流通網を活用した効率的な 資源再生循環型サイクルの構築



サプライチェーンイノベーション大賞
Supply chain Innovation Award
2023

当社は、製・配・販連携協議会より、小売業様、メーカー様、資源再生事業者様と協働で実施しました「既存の流通網を活用した効率的な資源再生」の取り組みを評価いただき、「サプライチェーンイノベーション大賞2023」の「優秀賞」を受賞いたしました。

事業活動を通じた既存の流通フローの活用により、ダンボール破材を効率的に再資源化する「資源再生循環型サイクル」を構築し、トラックの積載効率向上や、ダンボール破材の回収・再生における効率化を実現いたしました。

これにより、流通全体の作業負担の軽減やCO₂排出量の削減に貢献するとともに、ダンボール破材売却による収益の一部を「緑の募金」へ寄付することで森林保全活動にも貢献しております。

取り組み
による効果

SDGs
視点による
効果

輸送効率化

再資源化

● CO₂排出量の削減
● ドライバーの業務負担軽減

● 森林保全活動を行う
「緑の募金」へ寄付

1

持続的成長に向けた海外事業の拡大

～ 現地法人設立第2弾 インドネシア共和国に設立 ～

日本の人口減少に伴い国内市場の拡大が難しくなるなか、海外事業のさらなる強化を目的に、昨年9月にベトナム社会主義共和国において現地法人を設立いたしました。次いで来年2月にはインドネシア共和国にも現地法人を設立する予定であります。両国とも、平均年齢が低く、人口も増加傾向にあり、今後の経済成長も見込めることから事業拡大が期待できると考えております。当社が国内で培った流通機能・貿易ノウハウを活用した卸売事業を展開するとともに、海外における卸売事業としてのノウハウと経験を蓄積することで他国への水平展開をさらに推し進め持続的成長を果たしてまいります。

現地法人設立効果もあり取引が拡大

取引メーカー数・取扱商品数が大幅に増加



2

迫りくる物流の2024年問題へ対応

運送業界における労働時間の上限規制を起因とする2024年問題が目前に迫るなか、ホワイト物流の推進など、ドライバー不足に端を発する配送危機への対応を加速しております。生活必需品をお届けする当社にとって、配送改善への挑戦は、安定した商品供給の継続、配送費単価上昇への対応、さらには気候変動対策も含め、重要な課題であると認識しております。当たり前の日常を支える「持続可能な流通の構築」に向けて、流通全体を視野に入れた取り組みを協働で進めております。

ドライバーの需給予測では
2030年には **約35%不足**※

3回に1回モノが運べなくなる

※(株)野村総合研究所予測

取り組みのポイント

- 積載効率の向上、空車率の低下
- ドライバーの拘束時間の削減 など

当社の取り組み

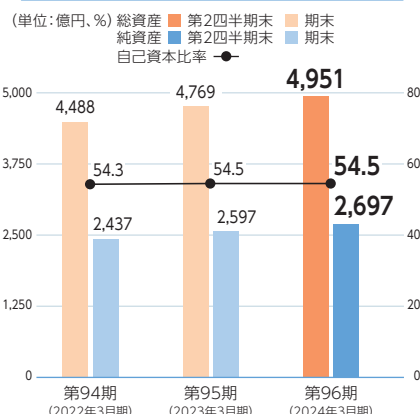
- デジタルを活用した効率的な商品入荷業務の本格運用
- 佐川急便様との連携による物流最適化への挑戦
- 中間拠点を起点とした中継輸送の取り組み
- 自社開発した入荷予約システムの導入 など

各取り組みの具体的な内容は
適時開示・統合報告書に記載
しております

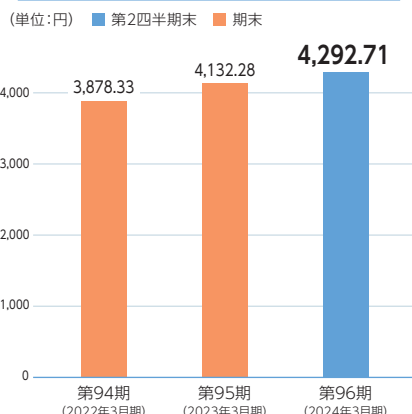


財務ハイライト

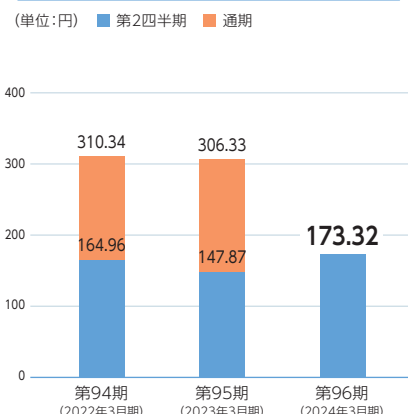
総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり純資産額



1株当たり四半期(当期)純利益



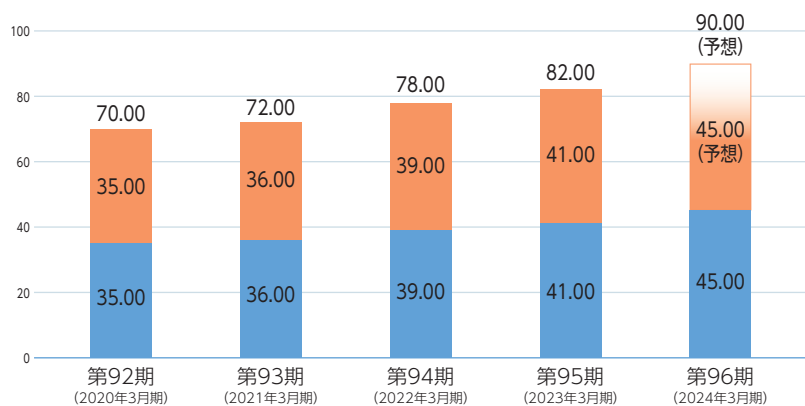
株主還元について

- ▶ 安定した配当を継続
- ▶ 中長期的な業績拡大に応じて増配に努める
- ▶ 総還元性向30%を目標

当期の配当金につきましては上記の方針に基づき1株当たり中間配当金及び期末配当金ともに、前期に比べ4円増配し45円といたします。これにより、1株当たり年間配当金につきましては8円増配の90円となる見込みです。

配当実績/配当予想
(単位:円) ■ 中間 ■ 期末

14期連続して増配を実施 ※予想含む

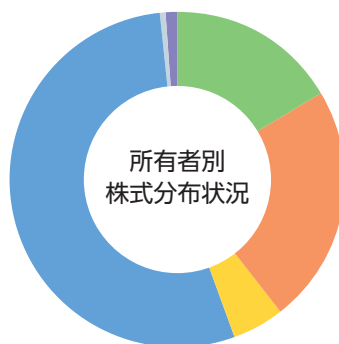


※連続増配は株式分割に伴う実質増配を含んでおります。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	3,168名

※自己株式706,796株



金融機関	10,495千株 (16.5%)
外国株主	14,621千株 (23.0%)
個人株主	3,242千株 (5.1%)
その他法人	34,153千株 (53.8%)
証券会社	333千株 (0.5%)
自己株式	706千株 (1.1%)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	3月31日、9月30日
株主確定日	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) https://www.paltac.co.jp/ 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株式事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。

統合報告書・SDGs動画のご案内

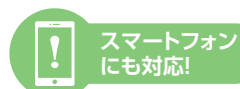
私たちのSDGsに対する考えや取り組みは、ホームページに掲載している統合報告書や動画コンテンツを通じてご覧いただけます。特に動画コンテンツでは、SDGsに対する取り組みを分かりやすくまとめて紹介しております。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ホームページのご案内

詳しい会社情報や財務関連情報をご覧いただけます。



PALTAC IR

検索

<https://www.paltac.co.jp/>

お届けするのはモノ以上の価値



見通しに関する注意事項

この中間株主通信に記載されている当社の計画、見通し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見通しと異なる可能性がありますことをご承知おください。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。